



社会福祉法人 人を支える 生活を支える

佐賀整肢学園

SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

■発行日：平成 28 年 8 月 31 日
■発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園
■発行者：理事長 中尾清一郎
■編集：法人広報誌編集委員

学園タイムス

2016-8 Vol. **11**

Sagaseishigakuen times

社会福祉法人 佐賀整肢学園

佐賀の史跡シリーズ

「川上峡鯉のぼり」

佐賀大和インター近くにある川上峡は、九州の嵐山と言われる深谷美で知られる場所。一帯は川上金立県立自然公園に指定されています。高瀬川に架かる赤いアーチ橋「宮人橋」の両側に、およそ300匹の色とりどりの鯉のぼりが泳ぎます。大和町観光事業実行委員会が多くのの人に楽しんでもらおうと始めたもので、「川上峡春まつり」の一貫として行われ、勇壮に群舞する鯉のぼりを見ることができます。土日祝日と春休み期間中は、観光屋形船の集合運行も実施されます。



巻頭言…2

REPORTS…3

新採紹介…4～7

事業所 TOPICS…8・9

決算報告…10

学園 FOCUS…11

局長随想 リレーコラム…12

ボランティア・施設見学・実習状況 みどころ…12



障害児者と生活習慣病予防

こども発達医療センター
小児科顧問

田 崎 考

生活習慣病予防は、メタボメタボとお役所が笛吹けど、人々はなかなか踊ってくれないようです。障害のある人たちはどうなっているのでしょうか？

学園の年齢も壮年期に入り、中で生活する障害のある人たちも歳を取り、いろいろな病気にかかるようになってきました。一般の病気については、医療の介入が容易になり、また心身障害児対策もかなり充実したものとなってきて、平均寿命も20～30年前に比較すると格段に延長してきています（たとえばDown症児）。このように重症児の介護が順調に行われた結果、高齢化が当然になると、それに伴い、いわゆる生活習慣病が新たに問題になってきています。学園でも、血圧が30～40歳代で140/80の太台にかかる人も出てこられています。また摂取カロリーを考えると肥満になりそうもない人に過体重が見られる事も少なくなく、摂取カロリーと消費カロリーのアンバランスがどこかで起こっていると考えられます。

しかし、一般の成人・老人保健、とくに生活習慣病予防についてはまだ十分な対応がなされていないのが実情です。佐賀市の一般の成人病予防健診でも受診率が30～50％であることを考えると障害者においては仕方ないのでしょうか？

障害児は、典型的には低身長、低体重を示す例が多く、これは咀嚼・嚥下に問題を抱えているため必要な栄養量を確保する事が出来ないためといわれています。栄養評価でも体格からみた場合は6～7割は低栄養であると評価されますが、血清蛋白からみた例ではあまり低栄養は強調されていません。しかしこのような状態でも、肥満、高血圧などの症状が出て来て治療が行われ、検査結果等で異常が出てきたものについてはそれぞれに対応されていますが、

予防という面からはまだまだの状態であると言えます。

子ども達の肥満、痩せについては学校保健で問題になっていますが、障害者では介護の方法論から問題視されています。寝たきりの障害児・者における麻痺、廃用による筋肉量の低下等から、今、成人整形外科領域において話題になっているロコモティブシンドロームやサルコペニアの状態が、障害児においてはより早期から起こって来ていると考えられますが、何時からどのような誘因で引き起こされてきているか、まだはっきりとしたデータは出されていないようです。骨粗鬆症でも障害児では容易に骨折が起こりやすくなり、介護上問題視されることが少なくありませんが、廃用と吸収との関連性を含めてまだまだ問題は多いようです。

このように考えていくと障害児の生活習慣病は正常児よりもより複雑な背景を持っており、その対応も難しい事が考えられ、これからの問題と思われる。

最後になりましたが、在園の人の健康状態を考えるとともに、自分自身と皆さんが介護をする、しくはいけない家族・周りの人たちの健康・疾病予防についてもじっくりと考えてみましょう。

附：ロコモティブシンドローム（運動器症候群）

ロコモティブは骨、関節、筋肉、神経等身体を動かす組織総てを包括した意味で、それがうまく作動しなくなった状態を意味する

サルコペニア

筋肉量が低下し、筋力や身体機能が低下した状態。加齢、不活動、低栄養などで起こる。

職員
表彰AEDを使った
救護活動の実践

佐賀整骨学園・オークス職員の内田剛志さん（在宅サージス課地域支援係勤務）がこの度、佐賀広域消防局佐賀消防署よりサッカーの試合中に倒れた男性の救護活動を行ったとして感謝状を受けました。

平成28年4月24日、佐賀市高木瀬町の市健康センターで行われたサッカー大会で、試合中チームメイトである30代男性が倒れ、心肺停止状態となりました。同じチームとして大会に参加していた内田さんは、AED（自動体外除細動器）を使いチームメイトと連携し救急車が到着するまで、救護活動にあたりました。一時入院していた男性は、現在退院し無事に社会復帰されているとの事です。

内田さん本人に当時の状況を確認してみました。

「プレー中にいきなりバタッと倒れたので、レフェリーがすぐに試合をストップしました。男性が痙攣し意識がなかったのだ、ただ事ではないとすぐに思いました。あまり詳しくは覚えていませんが救急車やAEDの手配、心肺蘇生を仲間と連携し実践をしました。まずは、命が助かって



前列左が内田さん（提供：佐賀新聞社）

本当に良かったです。

職場での研修等で、心肺蘇生法やAEDの使い方を学んでいたのが動くことができたと思います。逆に研修を受けていなければ、動くことすらできなかったと思います。学んだことを生かすことができて良かったです。改めて研修の大切さも実感しました。

今回は、スポーツ中に起きた事故でしたがこのような緊急的な事故は、療育や介護での現場でも起こりうるのだと思います。いかに冷静に判断し、適した行動ができるか。私自身、今後の支援においても適切な行動ができるよう、意識を持って研修を受けていきたいと思います。」との事。

男性が無事であり、本当に良かったです。そして職場の仲間が素晴らしい活躍をされた、とても明るいニュースでした。（オークス 中原健太）

新任
紹介

新任医師歓迎会（こども発達医療センター）

こども発達医療センターでは、毎年医師の歓迎会を開催しています。平成28年度は整形外科に新たに小山田医師と杉田医師が着任し、歓迎会には各部署より100名を超える職員が参加しました。冒頭に窪田センター長より、「当センターは医療機関でありながら、24時間利用者の方を支える福祉施設でもあるため、職員が一堂に会することは難しいが、毎年このようなかたちで歓迎会が開催できることを嬉しく思う。また、施設での医師不足が課題とされている今、新しい医師を迎えることの出来た環境に感謝しながら、今後も職員一丸となって医療・福祉の向上に努めていきたいと思います」との挨拶がありました。和やかな雰囲気職員間の親睦を深めることができ、新任のお2人も終盤には柔らかな表情でお話されていました。

4月より、こども発達医療センターでは常勤医師20名を含む職員407名で、170名の入所利用者様と1日約170名の外来患者様を支えていくこととなりました。

（こども発達医療センター 田中邦典）



小山田亜希子医師

九州大学医学部卒業
九州大学病院より赴任
日本整形外科学会 専門医
日本リウマチ学会 専門医

●所属学会等

日本整形外科学会 九州リウマチ学会
日本リウマチ学会 日本免疫学会
臨床免疫学会 日本骨粗鬆症学会
日本リハビリテーション医学会
西日本整形・災害外科学会



杉田 健医師

鹿児島大学医学部卒業
健和会大手町病院より赴任
日本整形外科学会 専門医

●所属学会等

日本整形外科学会 日本小児整形外科学会
日本手外科学会 日本骨折治療学会
日本マイクロサージャリー学会
西日本整形・災害外科学会



今春は70名の新規採用職員を迎え、4月1日に中尾清一郎理事長より辞令が交付されました。また、新規採用職員を代表して、こども発達医療センターの中尾よしのさんが誓いの言葉を述べました。新たな仲間を加え、法人全体で、職員は852名になりました。(4月1日現在)

平成28年度新規採用職員辞令交付式の様子(平成28年4月1日)

 こども 川崎 星夜 看護師 整形外科	 こども 立川小百合 看護師 小児科	 こども 川内 真紀 看護師 第1療育課	 こども 杉田 えり 看護師 第1療育課
 こども 中山裕香子 看護師 第2療育課	 こども 古川未知香 看護師 第2療育課	 こども 野田 渚 看護師 第3療育課	 こども 高山友紀子 生活支援員 第2療育課
 こども 永瀬 達哉 生活支援員 第2療育課	 こども 平川恵三子 生活支援員 第2療育課	 こども 定松 廣大 保育士 第3療育課	 こども 副島 靖子 生活支援員 西棟療育課
 こども 古川 稚子 保育士 在宅支援課	 こども 内田 俊樹 理学療法士 リハビリテーション科	 こども 田中慎太郎 理学療法士 リハビリテーション科	 こども 綾部 光記 作業療法士 リハビリテーション科
 こども 神崎 鮎 作業療法士 リハビリテーション科	 こども 斗山 優太 作業療法士 リハビリテーション科	 こども 井上 夢美 言語聴覚士 リハビリテーション科	 こども 末次 由佳 言語聴覚士 リハビリテーション科
 こども 藤田奈津子 言語聴覚士 リハビリテーション科	 こども 吉村 絵美 言語聴覚士 リハビリテーション科	 こども 中尾よしの 事務員 総合相談室	 オークス 澁谷千恵子 看護師 入所サービス課看護係

新採職員紹介

新採の言葉

私たちは、時代の要請を的確に把握し、総合力を高めて医療・福祉サービスの提供に、先進的かつ積極的に取り組みます。

私たちは、利用者とその家族の思いをわが思いとして、利用者の明るく、充実した暮らしの実現に努めます。

私たちは、医療・福祉の専門家としての誇りと熱意を持って、常に自己研鑽に努め、利用者の処遇向上を図ります。

私たちは、地域の医療福祉の拠点施設として、その機能と役割を十分に発揮できるよう、地域社会との連携と交流促進に努めます。



オークス

永淵 夏枝

生活支援員
在宅サービス課介護保険係



オークス

横尾圭太郎

準総合職
在宅サービス課地域支援係



清流苑

中村 ふき

事務員
総務課



清流苑

竹下亜由美

事務員
総務課



からつ

澁谷 貴美

看護師
アルトン看護生活課



からつ

松本光二郎

生活支援員
アルトン看護生活課



からつ

小柳 和宏

生活支援員
アルトン看護生活課



からつ

浦川 洋子

生活支援員
久里双水園入所サービス課



からつ

嶋崎健一郎

生活支援員
久里双水園入所サービス課



からつ

吉田 美紀

生活支援員
在宅事業部在宅サービス課



からつ

波多由香里

生活支援員
在宅事業部在宅サービス課



からつ

大川内由紀子

生活支援員
在宅事業部在宅サービス課



からつ

坂本 阿弓

生活支援員
アルトン看護生活課



からつ

石橋 茉莉

生活支援員
アルトン看護生活課



からつ

瀬戸あゆみ

理学療法士
アルトソリビテーション課



からつ

吉田 瑛美

作業療法士
アルトソリビテーション課



からつ

桑原 小牧

作業療法士
アルトソリビテーション課



からつ

田代菜々子

作業療法士
アルトソリビテーション課(奥)



からつ

岩本 歩

言語聴覚士
アルトソリビテーション課



からつ

神谷 知彦

言語聴覚士
アルトソリビテーション課



からつ

井手 友美

言語聴覚士
アルトソリビテーション課(奥)



からつ

口脇由里香

言語聴覚士
アルトソリビテーション課(奥)



からつ

仲野 千春

保育士
在宅事業部児童事業課



からつ

鬼塚 愛美

保育士
在宅事業部児童センター課



からつ

保利 彩夏

保育士
在宅事業部児童センター課



からつ

山下セツ子

保育士
在宅事業部児童事業課



からつ

林田奈央美

保育士
在宅事業部児童センター課



からつ

佐野美也子

管理栄養士
久里双水園総務課



からつ

寺田 佳世

管理栄養士
アルトン医療課



からつ

富田すみ子

歯科衛生士
在宅事業部児童センター課



からつ
加藤 須美子
歯科衛生士
在宅事業部児生センター課



からつ
小松 正子
歯科衛生士
在宅事業部児生センター課



からつ
高塚 育子
歯科衛生士
在宅事業部児生センター課



からつ
岡本 節子
調理師
在宅事業部児生センター課



からつ
大川内 磨美
調理師
在宅事業部児生センター課



からつ
有光 敦子
調理師
在宅事業部児生センター課



からつ
井本 早苗
調理師
在宅事業部児生センター課



からつ
諸熊 恵理香
調理員
在宅事業部児生センター課



からつ
松尾 和子
調理員
在宅事業部児生センター課



からつ
吉田 有希
調理員
在宅事業部児生センター課



からつ
井本 裕加里
医療事務員
アルトン総務課



からつ
高原 寿文
職業指導員
在宅事業部在宅サービス課



からつ
川原 純
職業指導員
在宅事業部在宅サービス課



日の隈
澤山 久乃
生活支援員
入所サービス課



向陽園
於保 ゆりえ
生活支援員
入所サービス課



向陽園
江頭 和輝
生活支援員
入所サービス課

こども発達医療センター

事務員 中尾 しの

佐賀整肢学園で働き始め、数カ月が経ちました。一つ一つの事務作業や電話対応、来客対応等が未熟でつまづきことがとても多いですが、周りの先輩方に助けられながら、また、利用者の方々の笑顔に癒されながら、日々頑張ることができています。多くの方々に支えられていることを感じ、感謝の気持ちで一杯です。まだ目の前の仕事をこなすことで精一杯ですが、一日でも早く仕事を覚えるよう、頑張っていきたいと思っています。今後ともご指導よろしくお願い致します。

かんざき清流苑

事務員 中村 ふき

私は平成22年5月より清流苑に勤務し、介護保険請求事務を担当していました。平成27年4月からは会計の担当となり、平成28年4月に正規職員として採用していただきました。会計の仕事では分からない事が多く、日々勉強中ですが自分に妥協することなく、これからも色々な事にチャレンジしていきたいと思っています。また、接遇の向上に努め、気持ちのいい挨拶と、ときどきの笑顔でご利用者様・お客様をお迎えし、地域の方々に愛される清流苑を支えていけるよう日々精進したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

かんざき日の隈

生活支援員 澤山 久乃

私は平成24年4月から日の隈に勤務し、5年目の今年から正規職員として採用していただきました。新規採用試験、辞令交付式と緊張をしましたが今まで以上に責任の重大さを感じました。何事も相談できる上司・先輩と明るい職場に感謝をしながら日の隈の入所サービス課生活支援員として仕事に励みたいと思います。また利用者様の明るく、充実した生活の実現をお手伝いできるように頑張りたいと思います。今後ともご指導よろしくお願い致します。

オークス

準総合職 横尾圭太郎

正規職員として採用して頂き、早くも数カ月が経ちました。採用当初は、新採研修や辞令交付式、これまで経験したことのない福祉の現場に立ち緊張の連続だったように感じます。現在は、オークス・在宅サービス課地域支援係へ配属となり、先輩方のご指導のもと利用者の方々と関わらせて頂いています。利用者様の体調等により日々の介護方法も変化していくことに介護の難しさを痛感する毎日です。その都度、より良い方法を模索しながら業務に取り組んでいます。介護の知識も未熟でご迷惑をかけることも多いと思いますが、より良い支援ができるよう精進していきたいと思います。

からつ医療福祉センター

生活支援員 石橋 茉莉

佐賀整肢学園で働き始めて数カ月が経ちました。私は障がいを持った方の支援をしたいという思いが強くあり、入職しました。学校で色々と勉強してきたのですが介護の専門知識と技術が追いついておらず、先輩方に助言を頂きながら勤務しています。分からないことが多く、慣れない事、戸惑う事ばかりですが、利用者の方一人一人に応じた介護方法や対応が出来るように頑張っています。また、短期入所をご利用される子供達も増えてきたので、幅広い年齢に対応出来るよう、今後はレクリエーションや在宅の家族とのかかわり方も少しずつ学んでいきたいと思います。

佐賀向陽園

生活支援員 於保 ゆりえ

佐賀向陽園で働き始めて数カ月が過ぎました。上司や先輩方にご指導いただきながら、少しずつ、自分から利用者へ働きかけることが出来るようになってきました。その中で「初心忘るべからず」という言葉をモットーに日々業務を行っています。これは「芸の未熟さ」つまりは「仕事を始めた時の技術の無さ」を忘れてはならないと言う意味です。「初めに比べてできる事が増えた！」と自分をほめる事も、時には必要かもしれませんが、常日頃から「技術の無い頃に後退せず、日々進歩あるのみ！」と、自分は言い聞かせながら日々の業務に励んでおります。



こども発達医療センターの八重桜も満開から、少しずつ散り始めた4月に第56回こども発達医療センター開園記念祭を開催しました。法人内施設長や地域の方をお招きし、日頃の感謝を込めてみなさまと一緒にお祝いをすることができました。

式典後のアトラクションは、めばえ様の踊りから始まり、飛び入りで利用者の方が歌い出され、会場が一気に盛り上がりました。その後も各部署から、音楽グループの発表やハンドベルでの演奏、ちびまる子一家の格好をした歌とダンス、職員手作りのヒーローショー等の出し物があり、最後のじゃんけん大会では、威勢の良いかけ声と喜んだり残念がったりする利用者様の姿が見られました。多くの来賓の方や地域の方、保護者様に参加して頂くことができ、また学生ボランティアの方にも協力して頂いたおかげで思い出に残る記念祭になったことを感謝致します。また、来年も利用者様の変わらぬ笑顔を見られることを楽しみにしています。(島内菜津子)



3月21日、施設外活動として川上峡へ行きました。この日の天気は朝から曇りつつなく、部屋の中で過ごすにはもったいない1日でした。そこで、春休み期間で朝から来所していた子ども達に四季を感じてもらおうと、春の風物詩であるこいのぼりが沢山泳いでいることで有名な川上峡へ行くことになりました。リフト車に乗り込むと嬉しそうな表情の子ども達。車内から見えるいつもと違う風景に、いつもにも増して笑顔が見られました。川上峡へ到着するとそこには、春風によって優雅に舞う沢山のこいのぼりの姿がありました。下から見上げると本当に空を泳いでいるかのような姿に子ども達もとても嬉しそうな様子でした。(横尾圭太郎)

デイサービスセンターかんざき清流苑では、3月22日と3月30日の2日間、介護予防通所介護利用者様と福岡県柳川市に「柳川雛祭りさげもんめぐり」に行ってきました。さげもんとは直径40cm程度の竹の輪に紅白の布を巻き、7本のひもを下げて、柳川まりを1本のひもに7個ずつするす飾りのことをいいます。当事業所では年間行事として季節に応じた外出行事を実施しておりますが、年に2回介護予防通所介護（要支援者）の利用者様を対象とした「介護予防ドライブ」を計画しており、目的地での食事や買い物、観光等を行い、生活機能向上プログラムの一環として実施しております。

さげもんめぐりでは、各商店街の店舗に飾られた大小さまざまで、色とりどりのさげもんを見物利用者様も大変喜ばれている様子でした。昼食は、かんぼの宿柳川で柳川名物のうなぎのセイロ膳などを堪能され、とても楽しい1日を過ごすことができました。(江里口徳彦)



事業所 TOPICS

(2月～4月)

まつぼっくり教室節分

2月

からつ医療福祉センター

からつ医療福祉センターまつぼっくり教室では、毎年節分の時期になると豆まきを行っています。子ども達は、事前に絵画制作活動を通して鬼のお面と新聞紙を丸めた豆を作り、豆まきに参加しました。始めに、子ども達は自身で作った鬼のお面を付け、「鬼のパンツ」の音楽に合わせてダンスを踊りました。身体を沢山動かした後、豆を持って豆まきに備えました。“ドンドンドン！”と壁を叩く音と共に赤鬼と青鬼に扮した職員が登場すると子ども達は顔色を変え、涙を流しながらも他の職員と一緒に「鬼は外！福は内！」の掛け声と共に豆を投げたり、鬼と握手をしたりしました。涙を流す子や笑顔で鬼と関わる子等様々でしたが、子ども達皆で力を合わせて鬼を退治する事が出来ました。(保利彩夏)



春まつり

4月

かんざき日の隈



4月2日に日の隈3大行事の1つである春まつりを開催し、たくさんの方にご参加いただきました。事前準備として、利用者の方と職員で会場を飾り付けるための花飾りの作成や日舞の練習を行いました。

当日は日舞の先生に続き利用者の方の踊りの披露があり、日頃の練習の成果をいかんなく発揮することができました。その他に西九州大学軽音楽サークルによる懐かしの曲やバンブーオーケストラによる演奏が行われました。

バンブーオーケストラで使用する楽器は元々バリ島の民族楽器だったそうです。それをメンバーの方が地元の竹を使用し、手作りしたと

のことでした。演奏の音色は心地よく柔らかで、会場中が優しい雰囲気になりました。

その後、職員出し物、抽選会と大いに盛り上がりました。(橋本早帆)

介護福祉士国家試験

3月

佐賀向陽園・わいわい

平成27年度(第28回)介護福祉士の国家試験に2名の職員が挑戦をして、60年ぶりの大寒波にも負けず、見事2名とも合格しました。昨年に引き続き受験をした職員の合格率は100%を保っています。

全国での合格率が57.9%、佐賀県内の合格者が614名で2人に1人しか合格にならない中で当事業所からどちらも合格したのは素晴らしい結果でした。

平成27年度から職員の向上心を全面的にバックアップするために有国家資格者が講師となり試験対策を始め、施設長自ら教鞭を取り講義を行いました。



今後は合格した2名も講師となり、受講生に教えることで介護という職への理解を更に深めることができると思います。また、合格した職員の内1人は複数の国家資格を有しており、これからの後輩の指導や、よき先輩像として職場の中心になると期待されています。そのような職員が増えていくことで、よりよい職場に近づくことができると感じました。(江頭和輝)

決算報告

法人全体の平成27年度決算は次のとおりであり、5月25日の理事会・評議員会で承認されました。

資金収支計算書

社会福祉事業：15拠点 公益事業：1拠点
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

単位：千円

勘定科目	予算	実績	差異
収入			
介護保険事業収入	95,555	589,578	9,877
老人福祉事業収入	201,275	200,986	-289
児童福祉事業収入	41,580	41,573	-7
障害支援事業収入	5,741	5,723	-18
障害福祉サービス等事業収入	1,701,737	1,720,629	18,892
生活保護事業収入	240,258	240,729	471
医療事業収入	2,646,421	2,647,682	1,261
医療的ケア事業収入	4,933	6,127	1,194
障害児福祉金等特別給付金収入	4,318	5,170	852
受取利息配当金収入	26,828	32,481	5,653
その他の収入	14,399	15,215	816
事業活動収入合計(1)	5,482,745	5,501,693	18,948
人件費支出	3,501,942	3,456,489	45,453
事業費支出	754,267	692,947	62,320
事務費支出	601,471	539,822	61,649
放付支援事業支出	5,744	5,719	25
利用者負担軽減減額	1,244	1,068	176
その他の支出	1,436	1,364	72
事業活動支出合計(2)	4,866,104	4,696,509	169,595
事業活動増収減額(3)=(1)-(2)	616,641	805,184	188,543
施設整備等補助金収入	54,029	46,480	7,617
固定資産売却収入	29,384	29,384	0
施設整備等収入合計(4)	83,481	75,864	7,617
固定資産借入金元金償還支出	2,760	2,760	0
固定資産取得支出	262,691	236,397	26,294
リース・リース外リース支出	6,236	6,236	0
固定資産支出合計(5)	268,077	239,797	28,280
施設整備等増収減額(6)=(4)-(5)	182,596	163,915	18,681
長期貸付金回収収入	1,993	2,131	138
積立資産取崩収入	410,877	375,376	35,501
拠点区分間繰入金収入	90,032	83,009	7,023
サービス区分間繰入金収入	169,158	168,338	820
その他の活動収入合計(7)	672,060	629,036	43,024
長期貸付金支出	1,125	1,125	0
積立資産支出	1,048,750	1,017,100	31,650
拠点区分間繰入金支出	90,032	83,009	7,023
サービス区分間繰入金支出	169,158	168,338	820
その他の活動支出合計(8)	1,309,065	1,265,372	43,693
その他の活動増収減額(9)=(7)-(8)	63,005	63,664	-659
予備費増	0	5,814	0
当期増収減額合計(10)=(3)+(6)+(9)+予備費増	208,774	733	209,507
前期末支払資金残高(11)	1,639,476	1,639,476	0
当期末支払資金残高(12)=(11)+(10)	1,430,702	1,640,209	209,507

貸借対照表

社会福祉事業：15拠点 公益事業：1拠点

事業活動計算書

社会福祉事業：15拠点 公益事業：1拠点
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

単位：千円

勘定科目	27年度決算	26年度決算	増減
介護保険事業収益	585,378	590,256	-4,878
老人福祉事業収益	200,986	180,050	20,936
児童福祉事業収益	41,573	43,566	-1,993
障害支援事業収益	5,723	4,481	1,242
障害福祉サービス等事業収益	1,720,629	1,683,852	36,777
生活保護事業収益	240,729	238,022	2,707
医療事業収益	2,647,682	2,594,873	52,809
医療的ケア事業収益	6,127	6,127	0
障害児福祉金等特別給付金収益	5,170	4,399	771
その他の収益	0	6,157	-6,157
サービス活動収益合計(1)	5,453,997	5,352,079	101,918
人件費	3,453,915	3,268,459	185,456
事業費	692,947	604,938	88,009
事務費	540,129	558,888	-68,355
放付支援事業費用	5,719	4,399	1,320
利用者負担軽減減額	1,068	0	1,068
減価償却費	432,840	381,644	51,196
固定資産等特別償却金取崩額	1,188,709	1,135,162	53,547
その他の費用	0	734	-734
サービス活動費用合計(2)	4,937,009	4,689,889	247,120
サービス活動増収減額(3)=(1)-(2)	516,988	662,184	-145,196
受取利息配当金収益	32,481	28,766	3,715
その他のサービス活動外収益	15,215	3,597	11,618
サービス活動外収益合計(4)	47,696	32,363	15,333
その他のサービス活動外費用	1,365	0	1,365
サービス活動外費用合計(5)	1,365	0	1,365
サービス活動増収減額(6)=(3)-(5)	46,331	32,363	13,968
経常増収減額(7)=(3)+(6)	563,319	700,547	-137,228
施設整備等補助金収益	46,480	45,428	1,052
固定資産売却益	29,384	20	29,184
事業区分間繰入金収益	0	1,110	-1,110
拠点区分間繰入金収益	83,009	168,054	-85,045
サービス区分間繰入金収益	168,338	68,095	100,243
サービス区分間繰入金費戻差益	46,015	0	46,015
特別収益合計(8)	373,226	693,887	-320,661
固定資産売却損・処分損	19,981	3,507	16,474
固定資産等特別償却金取崩額	46,480	456,224	-409,744
事業区分間繰入金費用	0	1,110	-1,110
拠点区分間繰入金費用	83,009	148,441	-65,432
サービス区分間繰入金費用	168,338	87,960	80,378
サービス区分間繰入金費戻差損	46,014	0	46,014
その他の特別損失	139,867	0	139,867
特別費用合計(9)	503,689	697,242	-193,553
特別増収減額(10)=(8)-(9)	30,537	4,355	26,182
特別増収減額(11)=(7)+(10)	43,856	697,192	-653,336
前期繰越活動増減差額(12)	7,404,520	6,632,427	772,093
当期繰越活動増減差額(13)=(12)+(11)	7,837,376	7,329,619	507,757
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	371,000	1,222,200	-851,200
その他の積立金増減額(16)	1,017,100	1,147,300	-130,200
繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16)	7,191,276	7,404,519	-213,243

(平成28年3月31日現在)

単位：千円

資産の部	27年度末	26年度末	増減
流動資産(1)	1,829,974	2,204,820	-374,846
現金預金	610,052	623,828	-13,776
有価証券	337,202	307,309	29,893
事業未収金	825,513	804,690	20,823
未収補助金	24,956	448,537	-423,581
立替金	473	1,558	-1,085
前払金	6,149	6,054	95
前払費用	21,525	11,415	10,110
前払金	3,154	1,409	1,745
その他の流動資産	20	20	0
1年以内の回収予定長期貸付金	840	0	840
固定資産(2)	13,318,571	12,891,873	426,698
基本財産	7,734,875	6,954,011	780,864
土地	1,231,545	1,142,243	89,302
建物	6,503,330	5,811,768	691,562
その他の固定資産	5,937,862	5,937,862	0
土地	391,176	376,677	14,499
建物	127,148	1,119,783	-992,635
構築物	159,828	177,920	-18,092
車両運搬具	75,380	75,542	-162
器具及び備品	170,685	191,024	-20,339
建設仮勘定	23,864	2,375	21,489
有形リース資産	3,110	0	3,110
施設金	3,702	3,651	51
ソフトウェア	7,477	8,377	-900
長期貸付金	32,069	34,096	-2,027
返還補助金等受取資産	8,669	11,969	-3,300
その他の固定資産	684	0	684
運営資金積立資産	358,000	460,000	-102,000
土地購入積立資産	909,500	871,500	38,000
建設準備積立資産	654,100	506,100	148,000
人件費積立資産	29,000	5,000	24,000
修繕費積立資産	584,500	333,000	251,500
備品及び備品積立資産	119,500	110,000	9,500
減価償却積立資産	7,688,500	1,544,400	244,100
リース対価積立資産	36,000	36,000	0
移行時特別積立資産	11,250	16,250	-5,000
移行時特別積立資産	55,000	50,000	5,000
移行時特別積立資産	55,000	50,000	5,000
その他の積立資産	2,238	3,314	-1,076
資産の部合計	15,148,545	15,096,693	51,852

負債の部	27年度末	26年度末	増減
流動負債(3)	192,307	565,344	-373,037
事業未払金	165,509	536,365	-370,856
預り金	1,832	1,732	100
繰上金	20,126	19,727	399
前受金	0	3	-3
前受収益	1,290	7,715	-6,425
仮受金	168	202	-34
1年以内返済予定設備資金借入金	2,760	0	2,760
1年以内返済予定リース債務	43,856	69,192	-25,336
固定負債(4)	55,331	60,937	-5,606
設備資金借入金	42,090	47,010	-4,920
リース債務	2,488	0	2,488
退職給付引当金	10,753	13,327	-2,574
負債の部合計	247,638	626,281	-378,643
基本金(5)	29,492	29,492	0
基本金	29,492	29,492	0
国庫補助金等特別積立金	3,101,789	3,104,151	-2,362
国庫補助金等特別積立金	3,101,789	3,104,151	-2,362
その他の積立金	4,578,350	3,932,250	646,100
運営資金積立金	358,000	460,000	-102,000
土地購入積立金	909,500	871,500	38,000
建設準備積立金	654,100	506,100	148,000
人件費積立金	29,000	5,000	24,000
修繕積立金	584,500	333,000	251,500
備品等積立金	152,500	110,000	42,500
減価償却積立金	1,788,500	1,544,400	244,100
リース対価積立金	36,000	36,000	0
移行時特別積立金	11,250	16,250	-5,000
移行時特別積立金	55,000	50,000	5,000
移行時特別積立金	55,000	50,000	5,000
その他の積立金	0	0	0
次期繰越活動増減差額	7,191,276	7,404,519	-213,243
次期繰越活動増減差額	7,191,276	7,404,519	-213,243
(うち当期活動増減差額)	43,856	697,192	-653,336
繰越資産の部合計	14,900,907	14,470,412	430,495
負債及び純資産の部合計	15,148,545	15,096,693	51,852

- 減価償却費の累計額 4,977,553,000円
- 徴収不能引当金の額 0円

佐賀整肢学園で活躍する様々な人に焦点を当てる
「学園 FOCUS」。

今回は居宅介護支援センターわいわい在宅サービス
課デイサービス係で介護職員として勤務されている鶴
加寿子さんに「よさこい」についてお話を伺いました。

Q 「よさこい」を始めたきっかけはなんですか？

A 柳川市在住の頃、子供の卒業パーティー（謝恩会）
で父兄と「よさこいソーラン」「ロックソーラン」
を踊った時に、よさこいの素晴らしさに魅了されたのを
きっかけにチームを立ち上げました。

Q どういう機会に踊られていますか？

A 九州各地で行われる「よさこいまつり」や老人ホームへの訪問、JC など感謝祭や起業祭、イベント等に
ゲストとして呼ばれ踊っています。

また、私が勤めているわいわいデイサービスでの行事の
出し物の際に職員に踊りの指導をして、一緒に踊っています。
地域貢献として来迎寺地区の老人クラブの集まりに参加し
認知症予防の体操なども行っています。

Q 「指導」もされていると聞きましたがどのようなことを
されていますか？

A チームを立ち上げて、2年後に「インストラクター」
の資格を取り「北茂安・三瀬・金立・吉野ケ里・白石・
柳川・大川・有田等」で、指導、オリジナル楽曲の振
り付けをしています。また、大川市からの依頼で中学校の
ダンス指導を年に5回、市のどんたく用楽曲の振り付けと
大川市のキャラクター体操の振り付けも行い、その振り付
けが全幼稚園・小学校等で踊られています。



学園 FOCUS



つる かずこ
鶴 加寿子 さん

居宅介護支援センター
わいわい
在宅サービス課デイサービス係

Q 「よさこい」の魅力を教えてください。

A 多くの人との繋がりが持て、九州各県に老若男女数
百人の仲間ができ、絆が持てたことや、躍動感のある
動きで定期的に身体を動かし健康を保てること。また、
人に見られる緊張感を持つことで、挨拶・整列などの基本
的な所作を学べたこと。あとは各県、各地の歴史や文化が
その踊りの中に取り入れられているな一と感じられ、文化
交流ができたことです。なかでも一番の魅力は踊っている
人はもちろん、見ている人にも元気を与えられるというこ
とです。

Q 最後に一言お願いします。

A よさこいを通して、年齢、性別、地域を超えた沢山の
人達との出会いや繋がりに感謝し、大切にしてい
きたいと思います。



今年の夏は殊のほか暑く、あまり嬉しいが、佐賀市の日中温度が国内最高になって、たびたびテレビのニュースで取り上げられている。この猛暑・炎天下の下、埼玉県さいたま市から佐賀県野上町まで、ホンダの大型バイク(1,500CC)「ワルキューレ」で帰省したという72歳になる従兄弟の猛烈老人と、親類の法事の中で久しぶりに出会う。

関東から九州までのバイク旅は、高齢者にとって大変ではないかと皆は思うだろうが、彼にとって国内ツーリングは、自宅周辺の散歩程度の出来事なのである。と言うのも、彼は世界を股にした旅人なので。

彼は、世界の果てを見てみたいとの思いに突き動かされて、JR東日本を57歳で早期退職し、2000年10月、船でオランダにバイクを送って世界周遊の旅を始めた。そして、昨年9月、中東、欧州、シベリアを一年三ヶ月かけた8回目の一人旅から帰ってきたこのことで、これまで121か国、国境205か所、走行距離37万キロを走破している。

その間、砂漠で道が消えて死に絶えたというサハラ砂漠越え、オランダでは睡眠薬強盗から現金を盗られ、吹雪の中のピレネー山脈越え、氷凍りでは砂漠でのエント、ニューヨークでは9.11の同時ビル爆発に遭遇、アラスカでの交通事故ではヘリで搬送され入院し、その費用640万円(保険対応)、インドでは450℃の灼熱下でのツーリング、ヒマラヤ山脈5000mの峠を5〜6か所越えて入ったチベットの悪路での転倒骨折、シベリア横断モスクワまで1万キロの半分5000キロの砂利道に往生、カードを使えないイランで隣国のアゼルバイジャンの銀行まで、4泊5日で、2,000km(ざっと九州から北海道まで)を走破などなど、彼は、どれ一つとっても我々の想像を絶する未体験ゾーンの世界の住人である。

72歳を数える彼を、突き動かしている青年のような情熱はいったい何なのかと考えたとき、アメリカの詩人スチュアート・ワルマンの有名な詩「青春」の一節を思い出した。そこにはこうある。

「青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。優れた創造性、逞しき意志、勇敢な情熱、信憑(きょうたう)を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春というのだ。年を重ねただけでは人は老いない。理想を失う時に初めて老いが来る。歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ。」と。心の青春を求め、従兄弟のレベルまではとても到達できないであろうから、いつの日か、せめて日本列島を、桜前線を追っての北上ツアーや、紅葉前線を追う南下のツアーには挑戦したい人なのと考えている。



在宅サポートセンター

かんざき清流苑

支援センター係主任

こうさき みつと

興梠 美津代

かんざき清流苑に就職して、あっという間に十数年が経ちました。居宅・医務室・施設ケアマネ・再び居宅と施設内で一番異動をしています。現在は居宅支援事業所の介護支援専門員として充実した日々を過ごしています。私の基礎資格は白衣の天使「看護師」です。

学生の頃、理想の看護師像に「歌って踊れる看護師」と書いて提出し、叱られることを覚悟していましたが、なんと当時の担任の先生が「あなたなら絶対なれる!」と太鼓判を押して頂いたので覚えています。月日が過ぎて、天使の羽は降りてはいますが、お酒の力が入れば、歌って踊っています。仕事でも大声で笑っています。こうやって、今でも人に接する仕事が続けられるのは、あの時私の背中を押して頂いた先生の温かい手と関係者の方々のおかげだと思っています。

私の仕事ぶりですか? 興味がある方は、昨年の学園タイムス Vol.6をご覧ください。見開きで私の特集記事が掲載してあります。もしかしたら、増版中でしょうか? (笑)

NEXT…向陽園・わいわいのあの人にバトンタッチ!!

平成 28 年 2 月～平成 28 年 4 月

- 協賛ボランティア
【こども】 親和会様 なでしこの会様 整肢学園友の会様 SVC 様 ふれあいサロンめばえ会様 松尾圭子様 (利用者様支援)
【オクス】 西九州大学社会福祉学科様
【清流苑】 リズムダンス「リトルクラブ」様 ひよっこ会様 ヒューマンドレミ様 鶴乃会様 音楽愛好会様 山崎節子様 (藤間流日舞) 江島孝高様 (アコーディオン演奏) 安倉貞子様 (パンフワーククラブ) ビバー神崎様 仁比山保育園様
【からつ】 折原幸子様(ひび館) 川打留子様(書道教室) 加藤万里子様(民謡教室) 田村静二様(絵画教室) 無津呂正様(陶芸教室) 辰野真由美様(手芸教室)
【日の隈】 山崎節子様(日舞クラブ) 二好富美子様(生花クラブ) 静浄会様 西九州大学ボランティア様 西九州大学軽音楽サークル様 パンフーオ ケスル様 神崎中学校吹奏楽部様
【向・わ】 佐賀少年刑務所様 (訪問司書) 金立町社協様 (傾聴ボランティア) 水琴の会様

- 施設見学会来訪
【こども】 別府支援学校 1 名様 国際医療福祉大学言語聴覚学科 1 名様 麻生リハビリテーション学校言語聴覚学科 1 名様 佐賀新聞社 7 名様 緑生館 16 名様 佐賀銀行 10 名様 柳川リハビリテーション学院言語聴覚学科 1 名様
【清流苑】 鶴岡地区婦人会 8 名様
【からつ】 唐津特別支援学校 3 名様 鬼塚小学校 1 名様 大坪小学校 1 名様 大川内保育園 2 名様 長松保育園 1 名様 福岡市東区若宮区社会福祉協議会 45 名様 めぐみ厚生センター 指定特定相談支援事業所カンノ 1 名様 相談支援事業所カーマン 1 名様 西九州大学作業療法学専攻 2 名様
【日の隈】 救護施設丸山荘 2 名様

- 実習生受入
【こども】 西九州大学理学療法学科 2 名 西九州大学作業療法学専攻 2 名 佐賀女子短期大学健康福祉学科 2 名 佐賀県立衛生専門学校 40 名 嬉野温泉病院 2 名
【オクス】 西九州大学社会福祉学科 2 名 佐賀女子短期大学健康福祉学科 2 名
【清流苑】 神崎清明高校 2 名 佐賀女子高校 4 名 西九州大学社会福祉学科 3 名 佐賀大学医学部 8 名
【からつ】 西九州大学理学療法学専攻 2 名 西九州大学作業療法学専攻 2 名
【日の隈】 西九州大学社会福祉学科 3 名
【向・わ】 西九州大学社会福祉学科 2 名

見どころ

今年から表紙が「佐賀の史跡シリーズ」に変わりました。職員から写真を公募し、厳選した写真4枚で今後表紙を飾っていきます。私自身、佐賀整肢学園に就職してから初めて佐賀に居を構え、早100日を迎えます。次号以降も「さが彩発見」のコーナーでも私知らない佐賀の魅力を伝えていければと思います。引き続きご愛読の程よろしくお願いいたします。



社会福祉法人 八木生える 生活会を創る
佐賀整肢学園
SAGA SEITEI GAKUEN Since 1960

■発行日:平成 28 年 8 月 31 日 ■発行元:社会福祉法人 佐賀整肢学園
■発行者:理事長 中尾清一郎 ■編集:法人広報誌編集委員
■表紙撮影:からつ医療福祉センター 西村恵美さん(佐賀市川上峡にて)